



新しい朝

府中市立府中第十中学校

学校だより No.9

令和2年1月23日

人間力

校長 竹内 康裕

朝の吐く息は白く、暖冬とはいえやはり「大寒」（暦の二十四節季の一つ）です。凜とした新年・新学期を迎え約三週間、学校が動き始めました。今年もよろしくお願いたします。

普段はひっそりとしている校門の前ですが、朝の景色は少し違います。通勤時間帯にはかなりの数の自動車が通ります。歩道は校門の反対側にしかなく、登校する全ての生徒が横断歩道を渡ります。わずかな間ですが長年そこに立っていると、新しい発見があります。最近、横断歩道の手前で止まってくれる自動車の数が増えてきました。ある車は、かなり遠くのほうから徐行して、生徒に横断歩道を渡り始めるタイミングをくれます。また、ある車は遠くのほうからヘッドライトで合図をして促してくれます。手前で止まって手で優しく合図をしてくれる運転手さんもいらっしゃいます。自動車は横断者がいる場合は一時停止をしなければならないという法律がありますが、「法律だから止まる」といったものを越えたところにある優しい気持ちを、手前で止まってくれる全ての運転手さんから感じます。「おはようございます」と交わす挨拶と共に朝のエネルギーになっています。

どこかの保育園か幼稚園へ行くのでしょうか、毎朝止まっていただけ一台の車があります。表情まではわかりませんが、後ろの座席に小さな子供の影があります。「あの子はきっと優しい人になるだろう」と思います。その子は必ず止まって道を譲ってくれる優しい母親の背中を毎日見えています。一を見て十を想像できます。その他にもあらゆることにその母親の温かさ・優しさがあることでしょう。頬や背中に感じる風の冷たさと、心に感じる温かさが対照的な毎朝です。

本校の生徒は、我が物顔で横断歩道を渡りません。法に謳われている自動車の義務、歩行者の「権利」を強く主張しません。幼いころからおうちの人やたくさんの人たちから教わった「身を守る交通安全」や「優しく譲ろうとする気持ち」で行動します。朝の場合は、「穏やかに待つ」です。きっとあの必ず止まってくれる運転手さんたちのような温かい人たちが幼いころから周りにたくさんいて、大切に育てられているのでしょう。これらは当たり前行動かも知れませんが、それがどのような時でも無意識に続けられるのは、無形の財産だと思えます。

「能力」と言えば「〇〇を〇〇な程度できる」といった can do で評価されるものが多い傾向にありますが、人としての在り方・考え方・心の姿勢（＝人間力）は、もっともっと注目されていると思います。「優しい気持ちや正しい考え方でずっといられて、それをしっかりと実践できる」ことは大切な能力だと思います。

やがて本校の生徒たちも親となり、同じように優しく正しい考えをもった子供が育つ良い繰り返しを楽しみにしています。

■□ 部活動の活躍 ■□

〈吹奏楽部〉

1月18日（土）東京都中学校アンサンブルコンテスト 銅賞
自分たちで創意工夫をしながら音を作り上げていきました。
演奏の音もチームワークも格段に良くなり、2年生にとって
素晴らしい経験になりました。



〈女子バスケットボール部〉

第1回多摩市中学生バスケットボール交流大会会長杯 優勝
多摩市連盟主催のローカル大会でしたが、全員よく頑張りました。

■□ 小中連携 ■□



12月18日（水）の5校時に、3月の音楽祭に向けて全校合唱集会を行いました。五小の6年生を招待して合唱を聞いてもらいました。十中生の誇り「合唱」の伝統をこれからも引き継いでいてほしいです。

1月22日（水）の5校時に五小の6年生が中学校の授業を体験しました。6年1組、2組は英語の授業、6年3組は技術の授業を体験しました。英語の授業では、「自分の得意なこと、不得意なことを英語で表現しよう！」をテーマに、技術の授業では「プロロボを制御するプログラムを考えよう！」をテーマに行いました。どちらの授業も真剣にそして楽しく学ぶ姿が見られました。「明るく楽しい先生で英語がわかりやすかった。」「自分が作ったプログラムでロボットがうまく動いてうれしかった。」など、うれしい感想が聞かれました。4月から中学生として一緒に学べる日々が楽しみです。



スクールカウンセラー着任のお知らせ

この度、下記のとおり新たなスクールカウンセラーが着任しましたのでお知らせいたします。

記

1. 氏 名 小松 あかね
2. 勤 務 日 毎週火曜日
3. そ の 他
 - 教育相談のご予約は電話でお願いいたします。
教育相談室直通電話（042-571-0858：火曜のみ）
 - 担任の先生を通してご連絡をいただいても結構です。

